

各位

2026 年 7 月 30 日
野村不動産ホールディングス株式会社

リリースカテゴリ：IR 情報

2027 年 3 月期 第 1 四半期連結決算のお知らせ

野村不動産ホールディングス株式会社（本社：東京都港区 代表取締役社長：新井 聡）は、本日、2027 年 3 月期 第 1 四半期連結決算（2026 年 4 月 1 日～2026 年 6 月 30 日）を確定しましたので、お知らせいたします。詳細については、「2027 年 3 月期 第 1 四半期決算短信」、「2027 年 3 月期 第 1 四半期決算説明資料」を合わせてご参照ください。

■主な内容（決算説明資料より抜粋）

あしたを夢、つなぐ。—— 野村不動産グループ
野村不動産ホールディングス

1. 2027年3月期 第1四半期決算概要（連結）

① 決算概要

2027年3月期
第1四半期決算

✓ 通期業績予想に対しては計画通りに進捗

✓ 売上高	1,910億円
事業利益※1	271億円
四半期純利益※2	147億円

2027年3月期
業績予想、配当予想
(期初時点から変更なし)

✓ 売上高、各利益はいずれも過去最高となる見通し、15期連続の増配を予想

✓ 売上高	10,800億円	（前年同期比 + 1,374億円、+ 14.6%）
事業利益※1	1,500億円	（同 + 26億円、+ 1.8%）
当期純利益※3	860億円	（同 + 31億円、+ 3.8%）
✓ 年間配当金	44.0円	（同 + 4.0円）
配当性向	43.7%	

※1 事業利益 = 営業利益 + 持分法投資損益 + 企業買収に伴い発生する無形固定資産の償却費 + 海外セグメントにおけるアロジ外会社(不動産の保有・開発を主としたSPC等)の持分売却損益

※2 親会社株主に帰属する四半期純利益

※3 親会社株主に帰属する当期純利益

©Nomura Real Estate Holdings, Inc. All rights reserved.

1. 2027年3月期 第1四半期決算概要（連結）

あしたを、つなぐ 野村不動産グループ
野村不動産ホールディングス

② 連結決算概要

✓売上高は1,910億円、事業利益は271億円、親会社株主に帰属する四半期純利益は147億円

連結損益計算書

(単位：億円)	26/3期 1Q 実績 ①	27/3期 1Q 実績 ②	増減額 ②-①	27/3期 予想 ③	27/3期 進捗率 ②/③
売上高	2,214	1,910	△303	10,800	18%
営業利益	368	255	△112	1,400	18%
持分法投資損益	15	13	△1		
企業買収に伴い発生する 無形固定資産の償却費	3	2	△0		
海外セグメントにおけるプロジェクト会社の 持分売却損益	—	—	—		
事業利益※1	386	271	△115	1,500	18%
営業外収益	18	15	△2		
営業外費用	46	54	+7		
経常利益	339	216	△122	1,250	17%
特別利益	—	2	+2		
特別損失	7	3	△3		
法人税等	99	67	△31		
親会社株主に帰属する四半期純利益	231	147	△84	860	17%

※1 事業利益 = 営業利益 + 持分法投資損益 + 企業買収に伴い発生する無形固定資産の償却費 + 海外セグメントにおけるプロジェクト会社(不動産の保有・開発を主としたSPC等)の持分売却損益

©Nomura Real Estate Holdings, Inc. All rights reserved

4

1. 2027年3月期 第1四半期決算概要（連結）

あしたを、つなぐ 野村不動産グループ
野村不動産ホールディングス

③ セグメント別決算概要

✓住宅セグメントの住宅分譲計上戸数の減少、都市開発セグメントの収益不動産売却の減少等により減収減益

✓仲介・CREセグメントと運営管理セグメントは売買仲介取扱高等、運営管理等の増加に対し経費の増加により増収減益

(単位：億円)	セグメント	26/3期 1Q 実績 ①	27/3期 1Q 実績 ②	増減額 ②-①	主な増減要因
売上高（連結）		2,214	1,910	△303	
	住宅	1,185	1,011	△173	住宅分譲の計上戸数の減少、前期の用地売却計上による反動
デベロップメント 分野	都市開発	622	486	△135	物件売却の減少
	海外	7	7	△0	
	資産運用	44	42	△1	
サービス・ マネジメント 分野	仲介・CRE	146	149	+2	リテールやミドルの売買仲介取扱高や取扱件数の増加
	運営管理	262	273	+10	運営管理、受注工事の増加
その他・調整額		△54	△60	△5	
事業利益（連結）※		386	271	△115	
	住宅	188	156	△31	住宅分譲の計上戸数の減少による粗利益の減少
デベロップメント 分野	都市開発	111	55	△56	物件売却の粗利益の減少
	海外	1	△16	△17	計上済のプロジェクトのイグジットに伴う清算費用等
	資産運用	31	28	△2	
サービス・ マネジメント 分野	仲介・CRE	52	44	△8	広告宣伝費等の経費の増加
	運営管理	18	11	△6	DX費や人件費等の経費の増加
その他・調整額		△16	△8	+7	

※ 事業利益 = 営業利益 + 持分法投資損益 + 企業買収に伴い発生する無形固定資産の償却費 + 海外セグメントにおけるプロジェクト会社(不動産の保有・開発を主としたSPC等)の持分売却損益

©Nomura Real Estate Holdings, Inc. All rights reserved

5

1. 2027年3月期 第1四半期決算概要（連結）

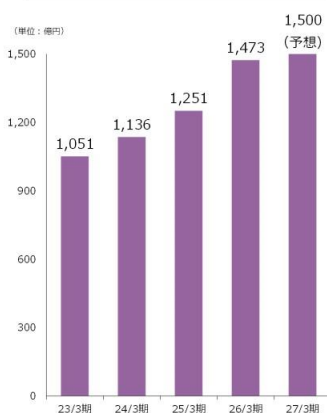
あしたを、つなぐ
野村不動産グループ

④ 2027年3月期 通期業績予想（2026年4月24日の開示時点から業績予想に変更なし）

✓住宅セグメントの住宅分譲が好調に推移することや資産運用セグメントの運用資産残高の増加等により、売上高、各利益は過去最高となる予想。

（単位：億円）	セグメント	26/3期 実績 ①	27/3期 予想 ②	増減額 ②-①	主な増減要因
売上高（連結）					
		9,425	10,800	+1,374	
デベロップメント 分野	住宅	4,334	5,000	+665	住宅分譲の計上戸数の増加
	都市開発	3,247	3,700	+452	物件売却の増加
	海外	37	40	+2	
サービス・ マネジメント 分野	資産運用	163	250	+86	
	仲介・CRE	643	680	+36	売買仲介取扱高、取扱件数の増加
	運営管理	1,298	1,330	+31	運営管理の増加
その他・調整額		△ 299	△ 200	+99	
事業利益（連結）※		1,473	1,500	+26	
デベロップメント 分野	住宅	617	690	+72	住宅分譲の計上戸数の増加
	都市開発	539	520	△ 19	賃貸粗利の減少等
	海外	27	0	△ 27	物件の供給調整
サービス・ マネジメント 分野	資産運用	105	115	+9	運用資産残高の増加
	仲介・CRE	189	190	+0	
	運営管理	135	95	△ 40	DX費、人件費の増加
その他・調整額		△ 142	△ 110	+32	
営業利益		1,382	1,400	+17	
経常利益		1,248	1,250	+1	
親会社株主に帰属する当期純利益		828	860	+31	

事業利益



※ 事業利益 = 営業利益 + 持分法投資損益 + 企業買収に伴い発生する無形固定資産の償却費 + 海外セグメントにおけるプロジェクト会社（不動産の保有・開発を主としたSPC等）の持分売却損益

©Nomura Real Estate Holdings, Inc. All rights reserved

6

（参考資料）

[2027年3月期 第1四半期決算短信](#)

[2027年3月期 第1四半期決算説明資料](#)